

# GPS・GISを用いたラーメン屋の空間的特徴考察 つくば市の事例

磯野 巧 (地球科学専攻)

## 1. 目的・調査対象

本研究では、主要道路（国道・主要地方道）からの距離、ラーメン屋（以下店舗）の駐車台数及び営業時間に着目し、つくば市に立地する店舗の空間的特徴を明らかにする。調査対象店舗はつくば市全域から満遍なく抽出した（54軒）。中華料理店や定食屋など、ラーメンを専門としない店は対象外とした。

## 2. 研究の方法・手順

### ①フィールドワーク

GPSを用いて店舗の位置をウェイポイントで記録、同時に駐車台数と営業時間をノートに記録した。

### ②分析

まずフィールドワークで取得した位置情報を ArcGIS に取り組み、ノートに記録した情報を属性テーブルに追加した。ベースマップは全国基盤地図（25,000の1）とした。次に主要道路に100mの線バッファを生成し、線バッファと属性データをインターセクトした。以上より主要道路沿いに立地する店舗とそれ以外の店舗に分類し、主要道路からの距離と駐車台数及び営業時間の関係を、バーチャートを用いて示したものが右図である。

## 3. 考察

分析の結果、主要道路沿いの店舗が43軒、主要道路沿い以外の店舗が11件であった（右表）。以下、右表の2分類に基づいて考察する。

### ① 主要道路沿いの店舗

店舗が密集している地域は駐車台数が多い（県道19号・国道408号）。県道19号と国道354号、県道19号と県道55号など主要道路が交差している地点に立地する店舗の駐車台数が多いが、これは大きな交差点がTG（トラフィックジェネレーター）であり、自動車利用客をターゲットにしていると考えられる。また県道19号、国道354号沿いに立地する店舗は駐車台数が多いことに加え、比較的営業時間が長い。これは上記2車線が高速道路（常磐自動車道）の出口（桜土浦・谷田部）に近接しており、夜間走行する運送業者をもターゲットとしているこ

とが考えられる。

### ② 主要道路沿い以外の店舗

営業時間は主要道路沿いの店舗と比べると短く、いずれも人口集中地区及び建物が密集している場所に立地している。また、主要道路から離れた場所に立地する店舗ほど駐車台数は少なくなる傾向がある。主要道路に面していないためにドライバーに発見されにくいいため、近隣住民やオフィスワーカー、学生など徒歩・自転車利用者をターゲットとしていることが考えられる。

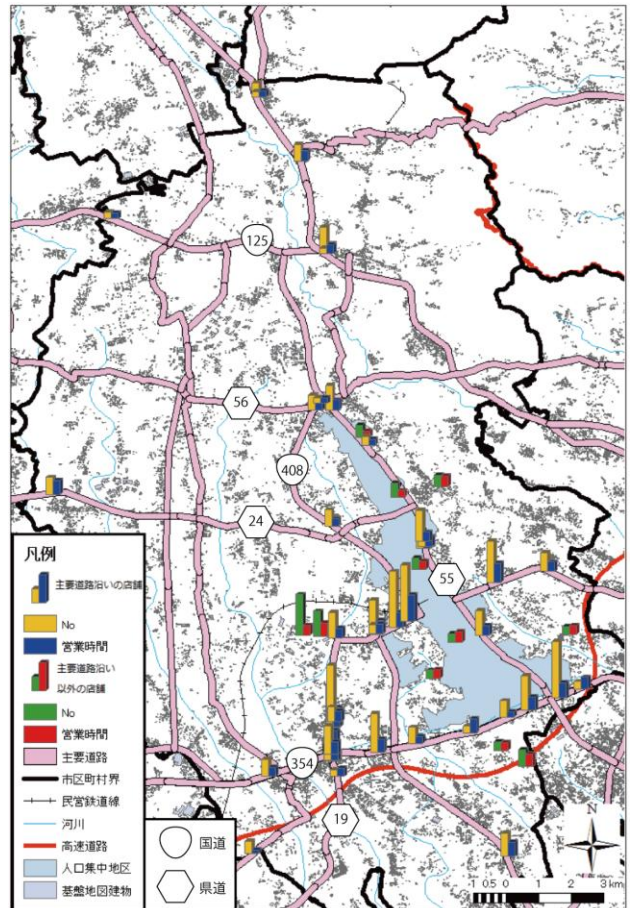


図 つくば市における主要道路と店舗の駐車台数・営業時間の関係

	数値
主要道路沿いの店舗	43
主要道路沿い以外の店舗	11
合計	54

表 主要道路から100m以内にある店舗の分布